

令和8年度 簾舞中学校「学ぶ力」育成プログラム

課題解決に向けて失敗を恐れず自ら考え、追究する資質・能力


学校番号：36004

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
<p>◇学校評価アンケートにおいて、「各教科の授業はわかりやすく、理解しやすいか」という質問に対して、9割以上の生徒が肯定的な評価をしている。</p> <p>◇札幌市の共通指標から「先生方は自分が安心して学習に取り組むことができるよう、支援をしてくれている」質問に対し肯定的な生徒の割合が9割近い。</p>	<p>◇将来の夢や目標を十分に持っていない生徒が一定数見られること、ならびに家庭学習の習慣の定着に課題がある。</p> <p>◇札幌市の共通指標から「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」に4割程度の生徒が否定的な回答をしている実態がある。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇学校評価アンケートにおいて、「自分は大切にされている」と実感できるかという質問に対し、多くの生徒が肯定的な評価をしており、安心して学習や生活に取り組める環境が整っていることがうかがえる。本校の特色である小規模校の強みを生かし、教科担任が全校生徒に関わる体制や、学年担任制のもと全員が担任として責任をもち子どもの声を大切にしながら継続的な指導がその要因と考えられる。一方で、家庭学習や時間の使い方など主体的に学ぶ力には課題も見られる。今後は基礎・基本を大切にしながら、学びを自分ごととして捉え、主体的に行動できる力の育成を図っていききたい。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

課題を自分ごととして捉え、自ら考え行動し、仲間と協働しながら粘り強く挑戦する資質・能力を育てる。

～AARサイクル（見直し→行動→振り返り）を通して、主体的に学び続ける力を育成する～

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
取組	<p>◇【課題解決に向けて取り組む力を育てる】</p> <p>：「見直し」と「主体的な取組」、「挑戦（探究）する意志」</p> <p>○各教科や総合的な学習の時間における「課題」を自分ごととして捉え、自分なりに課題解決に向け取り組む力を育てる。</p> <p>→生徒一人一人が新たな「課題」を設定したくなる単元構成や授業構成</p> <p>→生徒自身の取組と成果、課題に対して「振り返り（リフレクション）」の機会（時間）の確保</p> <p>→ICT機器の活用や交流・表現しながら試行錯誤する機会（時間）の確保</p> 	<p>◇「課題意識と解決するための情報を活用する力の育成」</p> <p>○学級活動や生徒会活動、さらに地域社会に向けて、さらにより生活空間（環境）にするためにはどうしたらよいかを考える</p> <p>《「札幌らしい特色のある学校教育」への取組》</p> <p>→「環境ウィーク」：6～7月実施、9月実施</p> <p>→「読書ウィーク」：10月下旬実施</p> <p>→「雪かきチョコボラ」「オリ・パラウィーク」：12～2月実施</p> <p>※日常の生徒会活動などと連携した取組</p>

〈本プログラムの実行に向けて〉

